

※ご意見内容：財政再建方針（第6次行財政改革大綱）骨格(案)について

委員名	主な意見 ※色付き部分は質問事項	事務局回答
	①再建方針と行財政改革大綱の骨格は、同一のものか？	目指すべき方向性が一緒であるため、財政再建と大綱の方針段階では一体となったものを作成します。また、これらに基づく財政再建計画及び6次行革の個票についても一体で作成することを想定しています。
	②あるべき姿は、財政運営だけでなく、行政事務運営（ガバナンス）などは入らないのか？	他のあるべき姿とは性質が異なり目標設定等がしづらいため、あるべき姿にはそぐわないものと判断しました。ただし、単純な内部統制ではなく、意思決定の推進やコロナ禍での考え方といった部分も含まれるため、重要な視点であり、方向性等の部分で、厚めに書いていく予定です。
	③今回示されたものは、単に従来からの指標ありきで、深掘りがされていない	<ご意見として頂戴しました>
	④財調、経常収支、市債残高、プライマリー、人件費構成比率の目標値の具体的な根拠は？	各指標は、想定する「あるべき姿」を達成するために必要となるものを設定しており、目標値については、コロナの影響を受ける前を基準に、26市平均や日野市の過去10年平均等を根拠に設定しています。
	(標準財政規模の10%、各平均値を選択する理由等が不明、臨財債の取り扱いは？)	また、あるべき姿③については、より市民の皆さんに数値をイメージしてもらいやすくするため、目標値を公債費負担比率に変更します。
	⑤目標達成の時期をどこに置いているか？	方針は令和2年度中に策定予定であり、その後コロナの状況を見極めて令和3年度以降に策定する財政再建計画の中で目標時期を示す予定です。なお、計画期間は5年間を想定しています。
	⑥書いてあることが非常事態宣言前と変わらないため、危機意識が感じられない	<ご意見として頂戴しました>
	⑦人件費、職員育成以外は、企画経営課又は財政課の所管事項と思われるが、これだけの検討を2課でできるわけがない	財政再建方針に基づく取組については、進行管理等は企画部が中心となりますが、理事者をはじめ全庁を挙げて取り組んでいく予定です。
	⑧予算の枠配当方式にした場合、査定を入れるのか？部の判断に任せるのか？	枠配当の部分については、インセンティブとして、ある程度部の裁量を認めることとなりますが、事業の必要性や額の妥当性などは、しっかりとチェックしていきます。
	⑨IT戦略の立ち遅れは明白。DXに本腰をいれ、定数を削減すべき	<ご意見として頂戴しました>
	⑩主要事業を示す実施計画は、何年スパンか？数年単位であれば、後述の大型公共事業の平準化などは記載不要	現在、主要事業については今後5～10年の収入見込みなどを勘案して平準化案を作成しており、これが枠配当を決める際の一つの要素にもなっています。
	⑪都市計画税の改定とは？	現在の都市計画税の税率は、特例措置により法定基準の0.3%から0.27%に引き下がっていますが、本来の趣旨に基づき、今後の都市計画事業の進捗状況等に応じて財源確保の観点から税率の改定を含めて検討を行っていくという趣旨です。
	①ここで掲げた目標をすべて達成すれば、日野市は素晴らしい市になっているのだろうか？	各目標値の達成が市民生活にどのような影響があるのかを、市民の皆さんがイメージしやすいよう、できるだけ具体的に記載することを想定しています。
	②あと何年、この改革を続ければ日野市は素晴らしい市になるのか？	財政再建の取組は、それ自体が目的ではなく、あくまでも市民サービスの向上に資する施策を推進するための財源確保の取組であると認識しています。方針に基づく財政再建計画等は令和3年度以降に策定する予定ですが、1年でも早く目標値を達成し、様々な市民サービスを適切なタイミングで提供できる財政基盤を整えていきたいと思います。
	③市民は日野市のために何をすればいいのか、やはりわからない	財政非常事態宣言後、新型コロナウイルス感染症の影響で歳入の減少が避けられない状況です。市ではこれまで歳入の確保のために、使用料・手数料の改定やガバメントクラウドファンディングによる事業実施及びネーミングライツの検討などを行って参りました。行政サービスを享受された方がきちんと適正な金額を支払っていただけるような仕組みを作ることが歳入確保のために必要なことだと認識しております。 また、例えば、他には以下のような市民の皆さんの取り組みが市の歳入に寄与します。 ①日野市内で買い物をする ②日野市で作った、あるいは日野市の会社で作ったものを買う ③市税や国民健康保険税等の納税を徹底してもらう その他、間接的にはなりますが、ごみを減らすことで処分代が縮小されます。また、市民の皆さんが健康で楽しい生活を送っていただくことが財政健全化につながります。
	④日野市の根源にある本質的な課題を顕在化させるプロセスが必要	<ご意見として頂戴しました>
	⑤「積み上げ型アプローチ」と併せて、「ありたい姿アプローチ」が必要	<ご意見として頂戴しました>
	⑥第1次～第6次、その先に向けたフェーズごとの全体感で市民に説明を	市民の皆様へいかに財政状況等をわかりやすくお知らせするかが現在の課題となっています。市広報誌に「財政コラム」の記事を掲載するなど、日野市の現在の状況をより理解いただくための取組を始めていますが、今回の財政再建方針等の策定状況や、策定後の財政再建に向けた取組の進捗状況などについても、情報発信を行っていきたく思います。
	⑦「令和3年度予算に向けた 経常費見直しのための調査票」といった現場レベルの取り組みを紐づけたり、市民に分かりやすく開示していくことで理解が得られる	
	①日野市の現状とコロナの影響を考慮して、実現可能性の高い数値であることが重要	<ご意見として頂戴しました>
	②あるべき姿と方向性の結びつきを具体的にしてほしい。上段と下段の方向性もリンクしていると明確になる	<ご意見として頂戴しました>
	①表記されている項目の目標値達成だけで、目指すところの根本的な行財政改革に繋がるのかを明確にした方がよい	<ご意見として頂戴しました>
	②一番重要になるのは、改善に向けた具体策。この部分を各主管部署にてしっかりと作り上げていくことが大切	<ご意見として頂戴しました>
	①あるべき姿①：決算値の数字の整合性が取れているのか？	各指標は、想定する「あるべき姿」を達成するために必要となるものを設定しており、目標値については、コロナの影響を受ける前を基準に、26市平均や日野市の過去10年平均等を根拠に設定していますが、目標値については、引き続き精査をしたうえで、数値の根拠等についても財政再建方針等に掲載する予定です。
	②あるべき姿②：経常収支比率について、目標値の95%の根拠は？	なお、あるべき姿③については、より市民の皆さんに数値をイメージしてもらいやすくするため、目標値を公債費負担比率に変更します。
	③あるべき姿③：市債残高について、これまでの推移から610億円台の目標設定で大丈夫なのか？（下げすぎでは？）	
	④あるべき姿④：人件費比率の15%台の目標は甘すぎる（これまでの推移より）	
	⑤受益者負担という言葉は使わない方がいいと思う（市民にばかり負担させているように見える）	<ご意見として頂戴しました>
	⑥人員整理の記述の際に書き方を工夫すべき（市民には市役所内部の実態など分からない）	<ご意見として頂戴しました>
	⑦連結の件を骨子に加えて欲しい	<ご意見として頂戴しました>